

## 事業報告書

団 体 名	齋川楽しみ隊
代表者役職・氏名	会長 引地達雄
事 業 名	奥州白石齋川宿マップ『はじめまして、齋川と申します。』活用事業
実施した事業の内容 ・活動内容 ・実施日時 ・場所 ・参加人数 等	<p>白石市齋川地区において、以下の事業を実施しました。</p> <p><b>事業①（継続） 地域の『いいもの』掘り起こし事業</b></p> <p>○文化財調査『みんなで調べよう！齋川の文化財』</p> <p>開催形式：2回講座</p> <p>実施日時：① 8月23日（土） 9時30分～12時 ② 8月30日（土） 9時30分～12時</p> <p>会 場：齋川公民館</p> <p>実施内容：・齋川地区の大判地図を準備し、各自の把握している文化財をマッピングするとともに調査カードを作成した。 ・サークル会員以外の地域住民に対して参加を呼びかけた。</p> <p>参加者数：18人（一般5、会員13） ①計10人（一般3、会員7） ②計8人（一般2、会員6） ※予定人数20人</p> <p>○特別セミナー『考えよう！齋川の魅力の活かし方』</p> <p>開催形式：講演会</p> <p>実施日時：2月7日（土） 13時30分～15時20分</p> <p>会 場：齋川公民館</p> <p>実施内容：・以下の内容で講演会を実施した。 【講 師】相澤国弘氏（株式会社ガイア代表取締役） 【テーマ】持続可能な地域づくり戦略 ～蔵王福祉の森構想とアルベルゴ・ディフーズ～ ・サークル会員以外の地域住民に対して参加を呼びかけた。</p> <p>参加者数：19人（一般14、会員5） ※予定人数20人</p> <p><b>事業②（継続） 地域行事への協力活動</b></p> <p>○『敬老会オリジナル缶バッジプレゼント』</p> <p>実施日時：10月12日（日） 9時</p> <p>会 場：齋川公民館</p> <p>実施内容：敬老会参加対象者等（80歳以上及び喜寿対象者）に対し、当</p>

	<p>会会員がデザインしたオリジナル缶バッジをプレゼントした。  対象者数：137人（喜寿14、米寿8、他80歳以上115）</p> <p>○『手作り缶バッジワークショップ』  実施日時：11月9日（日） 9時～12時  実施内容：・斎川地区キッズオリンピックと共同開催  ・行事内で缶バッジ作りワークショップを実施</p> <p>参加者数：27人（一般20、スタッフ7）  ※参加予定人数20人</p> <p>この事業にかかる地域住民の参加人数合計64人  ※合計参加予定人数60人</p>
<p>事業の成果や効果</p>	<p>本事業の実施により、以下の成果や効果が得られました。</p> <p>事業①（継続） 地域の『いいもの』掘り起こし事業</p> <p>○文化財調査『みんなで調べよう！斎川の文化財』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史や文化財に関心のある地域住民の参画を得て調査を実施できた。</li> <li>・地域内の文化財の分布を視覚的に捉えることができた。</li> <li>・地域内の文化財を実地調査するにあたり、基礎的な手掛かりを作成することができた。</li> </ul> <p>○特別セミナー『考えよう！斎川の魅力の活かし方』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先進的な取組で地域再生、持続可能な地域づくりを実践している起業家を講師とした講演により、地域に点在する『魅力』の活用が将来の地域活性化につながり得ることを学べた。</li> <li>・最初から大きな予算、大きな事業を実施しなくとも、できることに取り組んでいくことで周知が進み、大きな発展につながり得ることを学んだ。</li> <li>・地域をどのようにしていきたいかという『理念』を定め、それに向かって進んでいくことが大切であると学んだ。</li> <li>・従来の地域事業は地域住民を対象とした『内対内』が主体だったが、地域の魅力の受け手は地域外の間人であることも多いため、情報発信や事業形成などを通じて『内対外』に力を入れていくことの重要性を学んだ。</li> </ul> <p>事業②（継続） 地域行事への協力活動</p> <p>○『敬老会オリジナル缶バッジプレゼント』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特製缶バッジのプレゼントを通じて、斎川ならではの敬老会の演出に一役買うことができ、多くの敬老者に喜んでいただくことができた。</li> <li>・特製缶バッジのデザイン作成を通じて、サークル会員が自らのスキルを発揮し、地域のために活かす場を設けることができた。</li> </ul> <p>○『手作り缶バッジワークショップ』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・缶バッジを手作りすることの楽しさを周知することができた。</li> </ul>

今後における事業展開	<p>今後、以下のような事業展開を考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○『みんなで歩こう齋川のまち』は、ツキノワグマ対のため今年度は実施を断念したが、次年度以降は開催時期、コース等を調整しつつ継続的な開催を目指し、地域を代表する交流行事に育て上げたい。</li><li>○地域の歴史や文化財の保存・活用するため、文化財調査を継続させて基礎的資料の充実を図る。</li><li>○『敬老会オリジナル缶バッジプレゼント』は、多くの敬老者に喜んでいただけたため、継続的に実施したい。こうした取組を継続することで、マンネリ化した地域行事を刷新する機運が高まれば幸いである。</li><li>○地域内で、誰もが楽しめるあらたな文化として『手作り缶バッジ』の定着を目指し、ワークショップ等を実施する。</li></ul>
------------	--

【地域づくり団体等→まちづくり協議会等】

様式第V号④

## 収 支 決 算 書

団体名：齋川楽しみ隊

### 1 収入の部

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
人と地域が輝く未来共創交付金	98,529円	98,529円	
計	98,529円	98,529円	

### 2 支出の部

※別紙『支出に関する詳細一覧』を参照のこと

(単位：円)

項 目	予 算 額	精 算 額	う ち 交 付 金 充 当 額
講師等謝金・旅費 特別セミナー ・講師謝礼	50,000円 50,000円×1名=50,000円	50,000円 50,000円×1名=50,000円	50,000円
消耗品費  文化財調査 ・ケント紙 (A4) ・キャリーコンテナ ・シール、ペン 敬老会缶バッジプレゼント ・缶バッジパーツ ・缶バッジ台紙 特別セミナー ・プリンタトナー 共用消耗品 ・コピー用紙 (A4) ・カラーペーパー (A4) ・フラットファイル ・テプラカートリッジ ・スティックのり	40,529円  2,027円×1個=2,027円 2,680円×1個=2,680円  17,407円×1セット=17,407円  6,980円×2本=13,960円  891円×5個=4,455円	44,569円  0円 (内容変更・購入せず) 0円 (内容変更・購入せず) 110円×3個=330円  18,937円×1セット=18,937円 50円×28枚=1,400円  6,980円×2本=13,960円  1,990円×1箱=1,990円 3,780円×1箱=3,780円 33円×30冊=990円 980円×3本=2,940円 242円×1本=242円	44,569円
会議費 ・齋川公民館使用料 ・ " 冷暖房使用料	8,000円 260円×2時間×12回=6,240円 110円×2時間×8回=1,760円	3,960円 130円×2回=260円 230円×1回=230円 260円×7回=1,820円 110円×15時間=1,650円	3,960円
計	98,529円	98,529円	98,529円

収入決算額 98,529円 - 支出決算額 98,529円 = 剰余額 0円